

2023年11月8日

リコー、イノベーションの創出に向けてファンドを設立 ～スタートアップの成長支援を通じて、デジタルサービスの会社への変革を加速～

株式会社リコー(社長執行役員:大山 晃)は、このたび CVC(コーポレート・ベンチャー・キャピタル)ファンドとして、「RICOH Innovation Fund」を設立しました。本ファンドを通じ、BtoB 領域におけるイノベーションの創出を目指し、最新のデジタルサービスを牽引するスタートアップへの戦略的な投資を実行します。

リコーはこれまで業種特化 CVC やアクセラレータープログラム(TRIBUS)の運営により、オープンイノベーションを進めて参りました。今回、デジタルサービスの会社への変革を加速させるためにも、市場や技術の変化が早い事業・技術分野において、社内での R&D に加え外部企業との事業連携や協業を通じて事業開発の加速に取り組みます。

本ファンドで、主にオフィスや現場での創造的な仕事の支援や、デジタル・ワークプレイス実現のための新しい技術やサービスを有するスタートアップへの投資を実行します。また、リコーの有する資産やリソースの活用、グローバルの顧客接点力との連携により、スタートアップの成長を支援します。リコーはスタートアップとの協業・共創により、イノベーションを創出し“はたらく”に変革を起こしつつけることで、人ならではの創造力の発揮を支え、持続可能な未来の社会作りに貢献します。

主な投資対象領域

「“はたらく”に歓びを」を実現するための領域を対象とします。

◆創造性の支援

個人やチームが創造性を発揮し、コミュニケーションやコラボレーションを通じて新たなアイデアや価値を生み出す創造的な仕事の支援

◆デジタル・ワークプレイス

いつでもどこでも自らに合った環境でシームレスに働ける、また生産性と創造性を発揮出来るデジタルな仕事空間の提供

◆デジタル・インクルージョン

人の属性にかかわらず、誰もがあらゆるデジタルテクノロジーをセキュアかつ自由に活用できる支援

◆脱炭素/循環型社会

来たる「排出量実質ゼロ」を目指す社会において必要となる仕組みの実現および、タスク効率化による目指す姿の実現の加速

ファンドの概要

今回リコーが設立する「RICOH Innovation Fund」は、SBI インベストメント株式会社(執行役員会長兼社長:北尾 吉孝)を General Partner*とし、有望なスタートアップに対して投資を行います。

株式会社リコー <https://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL : 050-3814-2806 (直通) E-mail : koho@ricoh.co.jp

* General Partner: 無限責任組合員のこと、ファンドの運営に責任を負う組合員のこと。

<CVC ファンドの概要>

ファンド名	リコーイノベーションファンド 1 号投資事業有限責任組合
通称	RICOH Innovation Fund
設立日	2023 年 11 月 1 日
ファンド規模	約 50 億円
運用期間	10 年間

| リコーグループについて |

リコーグループは、お客様の DX を支援し、そのビジネスを成功に導くデジタルサービス、印刷および画像ソリューションなどを世界約 200 の国と地域で提供しています(2023 年 3 月期グループ連結売上高 2 兆 1,341 億円)。

“はたらく”に歓びを 創業以来 85 年以上にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>